

家具修理 & リフォーム

確かな技術で「買いたくない、直して使いたい」にお応えいたします！

家具の無料相談室 お気軽にお問い合わせ下さい

- ソファー張替え
- イス張替え
- 家具の塗り替え
- 家具の改造
- 家具の高さ詰め
- 家具の幅詰め
- 家具部品取替え
- 桐タンス再生

家具製造販売・修理・リフォーム 木曜定休
〒272-0801 市川市大町124-3

赤羽根家具

TEL 047-337-8640

こんなお困りごとは!!

- 草取り
- 植木の手入れ
- 屋内外の清掃
- 事務・パソコン入力等
- 毛筆の宛名書き などなど

公益社団法人 市川市シルバー人材センターへご相談ください

市川市平田 1-20-17
TEL 047-326-7000

この街を背負う



日本は地震などの災害が多い国です。その中で暮らす私たちは、「自らの地域は自らで守る」という意識が大切です。そのため、地域の防災力を充実強化していくには、担い手として、店主や農業者、サラリーマンといった地域住民からなる消防団の強化が急務となっています。みなさんも消防団の一員となって、さまざまな災害から地域を守っていきましょう。

☎333-2111消防局警防課

消防団とは…

他に本業を持ちながら活動する、市町村の非常勤特別職の地方公務員です。消防団は、平常時、非常時を問わずその地域に密着し、消火活動の他に、住民の「安全・安心」を守るという重要な役割を担います。また、平成17年4月1日から女性消防団員が入団し、一人暮らし高齢者宅への防火訪問や幼児に対する火災予防の啓発活動などを中心に幅広い活躍をしています。本市には23箇の分団があり、約340人の消防団員が活動しています。

Interview インタビュー

地域に溶け込む消防団に

消防団長 高橋 廣孝



本業の建設業の傍ら、消防団に入って38年、団長として6年目を迎えます。入団のきっかけは、「地域を守る消防団の伝統と活動を引き継いでくれないか」と先輩から誘われたことです。地域の結びつきが強かった当時は、普通のことであったと思いますが、最近は、地域と消防団の結びつきが薄くなってきていると感じます。消防団といっても、消火活動だけでなく、さまざまな地域活動に参加し、地域の中に溶け込んで、支え合っていくことが大切だと思います。人と人のつながりを大切に思う多くの方の入団をお待ちしています。



▲救命処置などの啓発活動を行う消防団員



▲分団ごとに行う防火防犯パトロール

消防団の主な行事

操法大会

消防技術向上のため、実際の火災現場での消火を想定して行われる操法大会は、ホースを延ばし火点の的を倒す速さと正確性を競うもので、全国規模で行われています。



総合防災訓練

防災訓練では、救助救出や放水などの訓練を披露する他、参加した市民に消火器の取り扱い方などの指導を行います。



消防出初式

出初式では、消防職員と共に部隊行進や、総合訓練を行います。



消防団についてのQ&A

Q 火事の際、どんな活動をするの

A 消火活動の他に避難誘導などの後方支援活動も行います。

Q 手当などはあるの

A 市の条例で、年額報酬として階級に応じて36,500円~147,500円を支給しています。災害出動(活動従事1回につき7,000円・非従事1回につき2,500円)や警戒・訓練時に手当(1回につき2,500円)が支給されます。また、活動服などの被服が貸与されます。

Q ケガをしたらどうなるの

A 消防活動は、しばしば危険な状況のもとで遂行するため、公務により万が一ケガなどをした場合には、それを補償する制度があります。

Q 誰でも入団できるの

A 市内在住または在勤で18歳以上の健康な方なら、誰でも入団できます。原則、お住まいの地域・勤務している事業所を管轄している消防団に入ります。入団希望の方は消防局警防課に連絡してください。

きっかけは阪神・淡路大震災

団本部 分団長 土居 恵美子



平成7年の阪神・淡路大震災をテレビで見ている「自分も何かしたい。何かをやらなければ」と思ったのが入団のきっかけです。コンビニエンスストアで店長をしながら、今年で13年目です。普段の活動は、子ども向けの119番通報の紙芝居作成や高齢者のお宅への防火訪問などです。今後は、実際の消火活動を想定した操法訓練にもチャレンジできればと思っています。これからもいざというときのため、市民に役立つ啓発活動に取り組んでいきたいと思っています。

多くの人との交流で自分も地域貢献

第2分団 団員 大極 毅



鍼灸師をしています。地元にも貢献できると思い、昨年2月に入団しました。以前から消防団に知り合いはいましたが、自分が実際に訓練を受け、水圧がかかるホースの重みや、機敏な行動につながる規律の重要性を肌で感じました。厳しさがある反面で、やればやるほど身が引き締まり、意欲がわいてきます。所属する第2分団は、町内パトロールやお祭りの警備なども行い、団員同士はもとより、多くの方との交流が広がり、自分も地域に貢献できていると団員になったのやりがいを感じています。

市では有料広告を掲載しています。なお広告内容に関する切の責任は広告主に帰属します。詳しくは広告主にお問い合わせください。